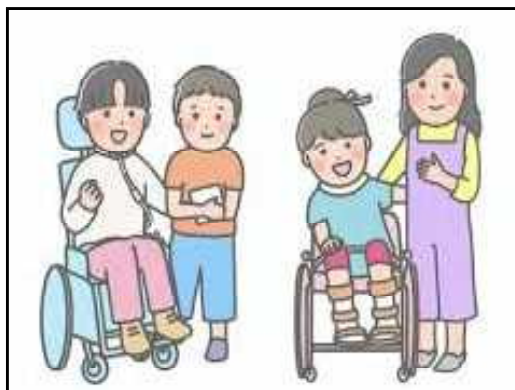




「インクルーシブな学校をめざして」

昨日、給食が始まり、明日からはいよいよ授業も始まります。本格的な3年生としての生活がスタートします。3年生の教室は2階にあります。なぜ2階にあるのでしょうか？考えたことがありますか？2階には、支援級の生徒のクラスが二つあります。5Aと5Bの教室です。支援級のクラスは5組と呼ばれています。この教室では障がいのある生徒も学習しています。二十年ほど前に私は、城山中学校の支援級の担任をしていました。その時は、車イスで生活する肢体不自由の生徒がいました。城山中学校は、車いすの生徒を受け入れるだけの環境が整備されていませんでした。校舎に入る時も昇降口に階段があるので、車いすの生徒はみんなと同じ下駄箱を利用することはできませんでした。校舎の裏口から登校していました。5組の教室にいくにも、エレベーターはないので、みんなで、車イスを持ち上げて階段を上りました。階段を上がる時は、近くにいる生徒がすぐに寄ってきて持ち上げるのを手伝ってくれました。3年間、エレベーターがなくても体育館にも北館にもどこにでもスムーズに車イスで移動できました。生徒の手がエレベーターの代わりをしてくれたからです。

5組の生徒と同じ2階に3年生が生活している理由は、最上級生の3年生が5組の生徒を支援しやすいようにです。学校のリーダーである3年生が同じ階にいて様々な相談にものってあげられるからです。3



年生はそのことを常に意識して欲しいと思います。地震や火事の避難訓練の時も5組の生徒の避難を優先して欲しいと思います。また、給食準備では、同じ配膳室を使います。重い食缶の運搬などのときは、お手伝いしたり、5組の生徒の運搬を優先しましょう。

また、昼休みなどに5組の生徒と遊んだり話したりして交流を深めて欲しいと思います。この1年間、5組の生徒との交流を深めて、インクルーシブの考えが大切にされる学校をつくりあげてください。